

# 号外

戸田市議会議員 さいとう直子の

## 駅立ち市政報告

「議員のおいしい?生活 住民は知らない! “海外視察”」と題し、  
日本テレビ「報道特捜プロジェクト」が問題提起!!



発行日:平成16年2月1日 さいとう直子事務所 〒335-0023 戸田市本町5-2-20-1104  
TEL&FAX 048(441)3625 E-MAIL naoko@naoko-sai.to

## 御存知ですか?

埼玉県議会「産業防災アジア行政視察団」  
参加議員の海外視察に対し、  
抗議が県議会に殺到しています。



日本テレビ「報道特捜プロジェクト」  
<http://www.ntv.co.jp/tokuso/>

事の発端は昨年(平成16年)の12月13日(土)の日本テレビ『報道特捜プロジェクト』でした。この番組を御覧になった方も多いと思いますが、その時どんな感想を持たれたのでしょうか。また、御覧になっていない方は、どんな恥ずべき行動がとられたかご想像つきますでしょうか?

政治を司る君子に、一般の人よりもはるかに高潔な人格を求める伝統が儒教にあるといわれていますが、いつのまにか、議員という職務が尊敬の対象ではなくスキャンダルがつきものようになっていきます。「またか!」「どうせ議員なんてそんなもんでしょ」「皆同じなんじゃないの」「こんなもんで仕方ない」等あきらめ口調の多いことにも驚きです。

今回の6議員の中に、戸田市選出の細田徳治議員が入っていたことがとても残念です。昨年の県議会議員選挙で氏に一票を投じた方もいらっしゃるかと思いますが、名前を信じて書いたことを今どんな風を感じていらっしゃるのでしょうか?またこの問題自身を御存じでない方もいらっしゃるかもしれませんが、知らないまま無関心のまま、放置しておいて良いのでしょうか?

昨年12月19日の県議会では「辞職勧告決議」を否決、かわって「海外行政視察に係る関係議員に自戒反省を求める決議」が可決されました。現時点では、県議会における真相解明はここで幕引きとなっています。

このままではこの問題が風化してしまいます。そこで、戸田市議会の女性議員に声をかけ、裏面の要望内容に賛同していただいた方々とともに1月27日の2時30分に滝瀬副次議長とお会いし、直接、「埼玉県議会『産業防災アジア行政視察団』参加議員の事実の説明責任と辞職勧告決議を求める要望書」を超党派で提出し、思いを伝えてまいりました。この問題につきまして、どうかご意見をお寄せ下さい。市民の皆さまの多くの声を県議会に届けたいと思います。

なお、埼玉県議会「産業防災アジア行政視察団」参加議員の海外視察問題についての詳しい経緯は、私のホームページにも整理・紹介しておりますのでご覧下さい。

さいとう直子ホームページ : <http://naoko-sai.to>

駅立ち市政報告はパソコンで自作しています 古紙100%使用した再生紙です。

## 【県議会議長に提出した要望書内容】

### 埼玉県議会「産業防災アジア行政視察団」参加議員の 事実の説明責任と辞職勧告決議を求める要望書

昨年12月13日の日本テレビ「報道特捜プロジェクト」での報道をきっかけに、11月22日から「産業防災アジア行政視察団」として、海外視察に出かけた6人の県議（自民党5人・無所属1人）に関する報道が各新聞誌上を賑わせました。県議会に県民から抗議の声が現時点で1700件余寄せられているように、私たちは当事者である県議会議員6人の海外視察先での行状に、議員を選出している県民として大変恥ずかしいと思うと同時に憤りを感じています。

その後の新聞報道では当該県議6人は、12月16日、海外視察で「誤解招いた」と釈明して視察費用約530万円を議長に返還・議長預かりとなった後、埼玉県議会では12月19日、6人の議員辞職勧告決議案を賛成少数で否決、「海外行政視察に係る関係議員に自戒反省を求める決議」を賛成多数で可決し、議会による真相解明はこれで幕引きとなったとも言われています。

しかし、12月21日、日本テレビの別番組で、問題となったバンコクのクラブで店の女性が客に買春を持ちかける様子があらたに放映され、13日報道の番組の取材では当初バンコクのクラブに行ったこと自体否認していた県議が報道後に一転して、行ったことは認めた経緯を考えますと、当該県議に対し不信を抱き、県民を代表する公人としての資質自体を疑わざるを得ません。

また、視察自体は報告書も出ており適正に行われたとの認識の上で、議長預かりとなっていた約530万円も県へ返還不能として当該6県議に戻されることとなったという報道もありましたが、12月17日の記者会見で主張した「疑惑を認めるのではなく、反省の気持ちと誤解を受ける部分があったことに対しけじめをつけるため」という当該6県議の公費返金意図はどうなるのでしょうか。

今後このような不祥事の再発を防止し、県議会議員に県民の代表である公人としての誇りを持って公務に臨んでもらうためにも、私たちは、埼玉県議会「産業防災アジア行政視察団」参加議員の事実の説明責任と辞職勧告決議を強く要望します。

#### 市議会報告です

例年2日間の臨時議会は、異例の4日間にわたる開催でした。視察問題で、**平成会(所属)と共産党が「辞職」を、公明党、自民クラブ、21世紀クラブは「自戒反省」を求める内容の決議案**をそれぞれ初日の議会運営委員会に提出。議員提出議案は、全会派一致で提出する申し合わせがあり、5議案の一本化に向けた調整が5日20時に始まりました。

22時25分頃「真相究明を求める」調整案が各会派に提示、折り合いがつかず、次に提示されたのは、日付越えの6日、0時45分頃で、決議名を「辞職」「反省」のいずれにするか、文面は、「戸田市選出」「逸脱行為」などを盛り込むかどうかの調整が延々と続き、結局、「**6人の逸脱した行為はまことに遺憾。自らの地位と責務を自覚し、辞職を含む出処進退を明らかにするよう強く求める**」など追記し、『**県議会の海外行政視察における逸脱行為の真相究明と関係議員の出処進退の決断を求める決議**』を全会一致で可決。6時35分閉幕の「**朝まで議会**」でした。